

消化器内視鏡学

[M6-70046P1]

1 臨床実習の概要

消化器内視鏡実習では、諸君は学生という立場であるが、将来医師となるため倫理観を持って相応しい態度で患者に接し、消化管領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、消化器内科一般と主に消化器内視鏡領域疾患の正確な知識に基づき主要な病態、診断、治療（適応、選択、術前、術中、術後管理）を正しく理解し、患者とチームメンバーを尊重した消化器領域の中で消化管疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることのできる（①④）
- 消化管領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 消化器領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 消化器領域の疾患の患者を通して…
 - ・ 医療面接、身体診察などで基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 収集した情報から臨床的な問題点の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 臨床的諸問題に対して診断、治療、教育などの初期計画を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療（適応、）、合併症、予後の要点を説明できる（③）

- ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる (③)
- 消化器系の医療に関わる…
 - ・ 多職種連携・チーム医療に学生として参加できる (④)
 - ・ 社会制度（厚生医療など）を説明できる (④⑤)

主要な疾患、症候、検査、治療

【症候】

腹痛、吐血、血便、下血、貧血、肝機能障害、低蛋白血症

【主な疾患】

逆流性食道炎、食道癌（食道表在癌、早期食道癌、進行食道癌）、食道真菌症、感染性食道炎（ヘルペス、サイトメガロ）、粘膜下腫瘍、食道静脈瘤、食道顆粒細胞腫、異物（魚骨、薬剤の PTP 包装など）急性胃炎（化学薬品など）、慢性胃炎（萎縮過形成性、びらん性、表層性）、ヘリコバクター感染症（胃炎）、粘膜下腫瘍（平滑筋腫、脂肪腫、GIST など）、胃潰瘍、胃癌（早期・進行）、胃肉腫、悪性リンパ腫、胃腺腫、胃カルチノイド、過形成ポリープ、胃底腺ポリープ、アニサキス症、異物（魚骨）、膵炎（急性・慢性）、膵臓胞性疾患、膵管形成不全、膵癌、胆嚢癌（早期・進行）、胆管癌、Vater 乳頭部癌、胆管結石、胆嚢結石、先天性総胆管拡張症、膵胆管合流異常症、硬化性胆管炎、炎症性大腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、虚血性大腸炎、出血性大腸炎、クロストリジウム大腸炎、偽膜性腸炎、感染性腸炎（O-157 など）、大腸憩室症（出血、炎症性）、過敏大腸症、大腸腺腫、大腸癌（早期・進行）、肛門管癌、大腸悪性リンパ腫、大腸カルチノイド、痔核（内・外）、痔瘻、腸閉塞など

【検査・治療・医用機器など】

採血・検尿、内視鏡検査（上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査、EUS（超音波内視鏡検査）、内視鏡の逆行性膵胆管造影法、色素内視鏡検査-ルゴール散布法、インディゴカルミン散布法など、NBI 併用拡大内視鏡検査、生検）、超音波検査（主に腹部）、CT・MRI 検査、PET-CT など

緊急内視鏡検査、食道静脈瘤効果苞、消化管出血に対する治療（局注療法、高周波止血法、クリッピング法など）、異物摘出、胃ポリペクトミー、内視鏡的胃瘻増設術（PEG）、内視鏡的イレウス管挿入法、（胃腺腫、早期胃癌、過形成性ポリープにおける）内視鏡的粘膜切除術（EMR）、（主に早期胃癌）内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、乳頭括約筋切開術（EST）、内視鏡的逆行性胆管ドレナージ法（ERBD）、内視鏡的乳頭バルーン拡張術（EPBD）内視鏡的経鼻バルーン拡張法(ENBD)、大腸ポリペクトミー、大腸内視鏡的粘膜切除術（EMR）、（主に早期大腸癌、大腸腺腫内癌、カルチノイドなどにおける）大腸粘膜下層剥離術（ESD）など。

4 方 略

病棟、ならびに外来臨床実習、場合によっては学外実習もあり得る

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に消化器内視鏡学領域の臨床実習予習ノートを復習しておくこと
(指定されている図書等を参考として十分な内容にしておくこと)

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：60分 復習：60分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問については実習中のクルズス等で適宜フィードバックを行う。

7 評 価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	20 %
実習レポート（担当症例のレポート）	20 %
担当患者症例提示	20 %
口頭試問	20 %
その他	20 %
上記の評価項目を総合的に判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

実習責任者：北方 秀一（消化器内視鏡学）

担当教員： 伊藤 透、秦 義之

10 参 考 図 書 ・ 文 献

購入すべき図書

1. 新臨床内科学 第10版 医学書院

購入するとよい図書

1. カラー版 消化器病学 基礎と臨床 西村書店
2. カラー版 内科学 西村書店

消化器内視鏡学

週間スケジュール

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
第1週・第2週	月	内視鏡検査 実習 [北方]				内視鏡検査・治療 実習 [北方]						
	火	外来実習 [北方]				内視鏡検査・治療 実習 [北方]						
	水	内視鏡検査 実習 [秦]				内視鏡検査・治療 実習 [秦]						
	木	内視鏡検査・治療 実習 [北方]				内視鏡検査・治療 実習 [北方]						
	金	国試対策講義				内視鏡検査・治療 実習 [秦]						

第1日目の集合場所・時間：医学教育棟6階 医局隣カンファレンス室(634) 午前8時50分